

市では、小学校1・2年生から市独自の教材を用いて年間14時間の外国語活動を行っており、小学校6年間を通して、英語による「聞くこと・読むこと・話すこと・書くこと」の言語活動で、コミュニケーションに必要となる基礎的な資質・能力の育成を図っています。

また、外国語活動や外国語（英語）教育の充実および国際理解教育の充実を図れるよう、市立のすべての小学校・中学校に、ALT（外国語指導助手）を派遣しております。

浦安市HPより抜粋。

本校では、令和6年度学校評価において以下のような設問を設け、保護者の方にご意見を頂戴いたしました。

児童対象	A・B	C・D
外国語(英語)の授業を楽しく受けることができますか。	83%	17%

保護者対象	A・B	C・D
浦安市では、小学1年生から外国語活動を実施しています(教育課程の特例)。低学年における外国語活動は、効果的だと思いますか。	78%	14%

教職員対象	A・B	C・D
浦安市では、小学1年生から外国語活動を実施しています(教育課程の特例)。低学年における外国語活動は、効果的だと思いますか。	75%	6%

(表の見方) A：とてもそう思う　B：そう思う　C：あまり思わない　D：そう思わない
保護者と職員は「わからない」も含むため、割合の合計が100%にならない場合があります。

【保護者向けアンケート自由記述欄より】

外国語活動のレベルが低いと感じます。中学になった時に英語が読めずスペルが書けず、音でしか覚えていないため、小学校で知った単語と結びつけることができず、小学校の外国語活動が活かせていません。小学校6年間で、中学校の英語につなげられるぐらいのレベルにしてほしいです。アルファベットの発音も教えると良いのではないかと思います。